

大日本スクリーン製造株式会社 2009年3月期 第1四半期決算説明会

2008年8月11日

資料の取り扱い上の注意

- ・本資料および口頭にて提供する将来の当社業績見通しは、直近で知り得る情報をもとに作成したものであります。しかしながら、世界経済やエレクトロニクス業界の技術変化、半導体・FPDパネルの市況など、当社を取り巻く事業環境は急速に変化いたします。つきましては、今後当社の業績見通しが本資料と異なる可能性もございますので、ご了解願います。
- ・本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切捨てで処理しております。比率は百万円単位で計算した結果を四捨五入して処理しております。

2009年3月期第1四半期決算概要

常務取締役

財務・経理戦略/IR担当 領内 修

本日のアジェンダ

- 四半期連結業績の推移と分析
- 売上高・営業利益/受注高・受注残高の四半期推移
- 各事業環境について
 - 半導体製造装置事業
 - FPD製造装置事業
 - 画像情報処理機器&その他電子工業用機器事業
- その他
- サマリー

四半期連結業績の推移

(単位：億円)	2009年3月期				2008年3月期			
	実績	計画 (5/12発表)			実績			
	1Q	2Q	下期	通期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	520	709	1,500	2,730	694	758	519	825
営業利益	8	46	89	127	45	74	2	28
営業利益率	1.6%	6.5%	5.9%	4.7%	6.6%	9.8%	0.5%	3.5%
経常利益	11	23	83	95	43	48	11	5
税金等調整前 四半期純利益	35				47	58	12	5
四半期純利益	30	14	48	32	21	33	11	2

当第1四半期の連結業績分析

売上高

実績 520億円 上期計画 1,230億円（進捗率42.3%）

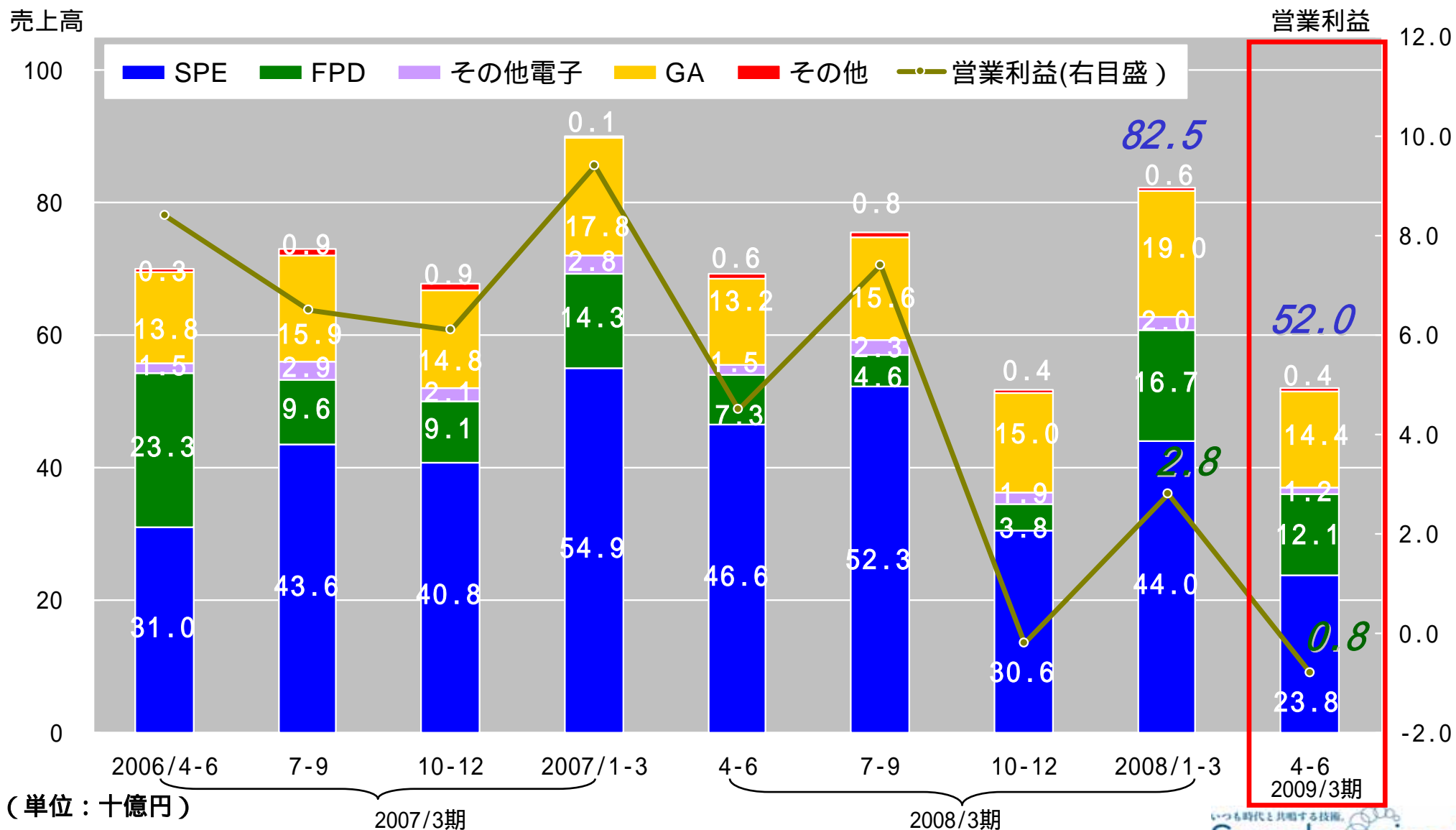
	実績（対上期計画進捗率）	ポイント
SPE	238億円（41.1%）	メモリーメーカーの投資抑制により減少
FPD	121億円（41.9%）	ガラス基板世代（G5～G8）ほぼ均等に納入
その他電子	12億円（27.2%）	投資抑制により減少
GA	144億円（47.3%）	CTP、インクジェット機ともに堅調

営業利益

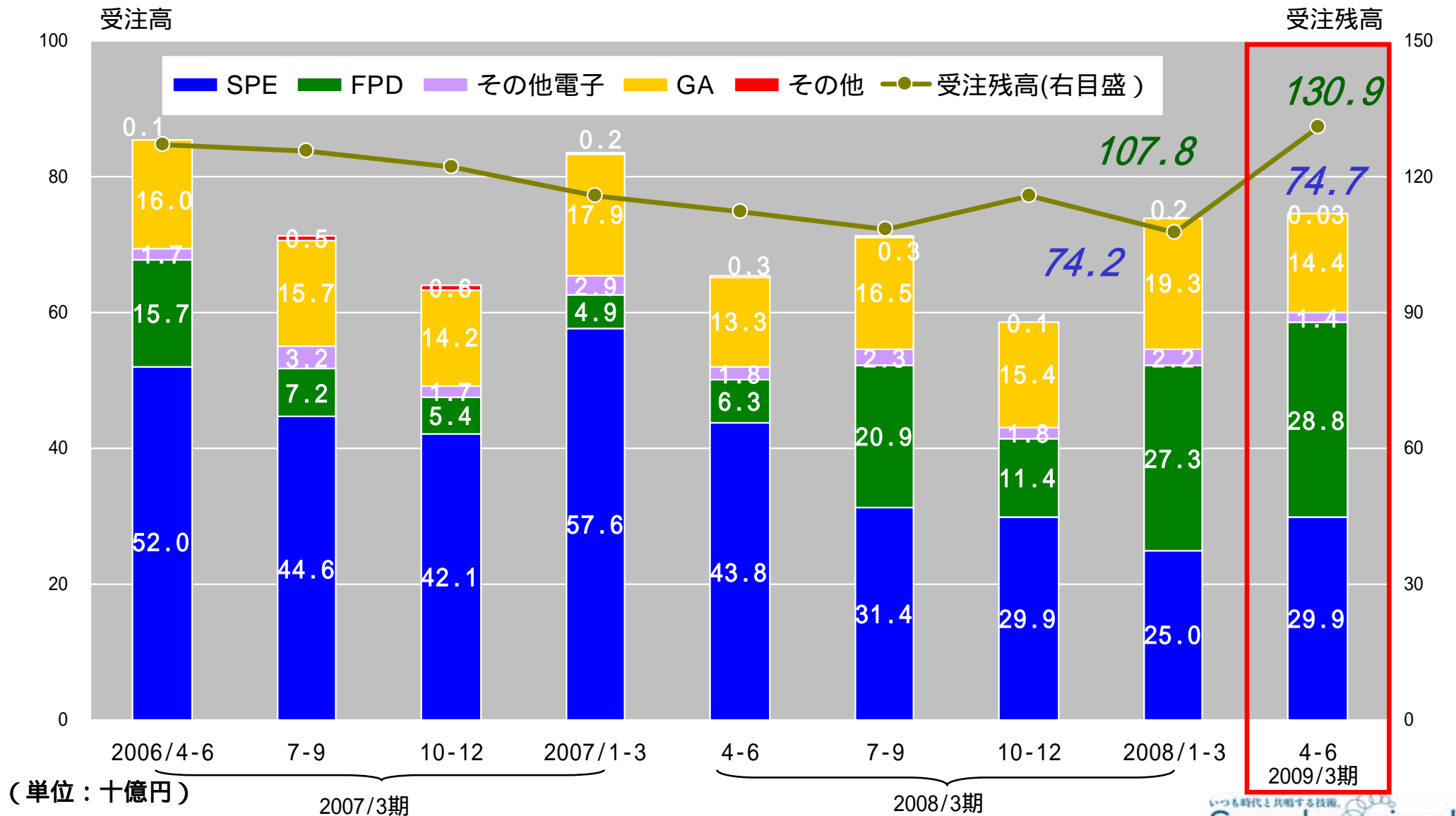
実績 8億円 上期計画 38億円

	実績	ポイント
電子工業用機器	13億円	SPE : 売上大幅減に伴い赤字 FPD : 売上回復に伴い黒字回復するものの、利益率は低下 その他電子 : 売上減少に伴い赤字
画像情報用機器	4億円	堅調に推移
その他	0.4億円	

売上高・営業利益 四半期推移 (連結)



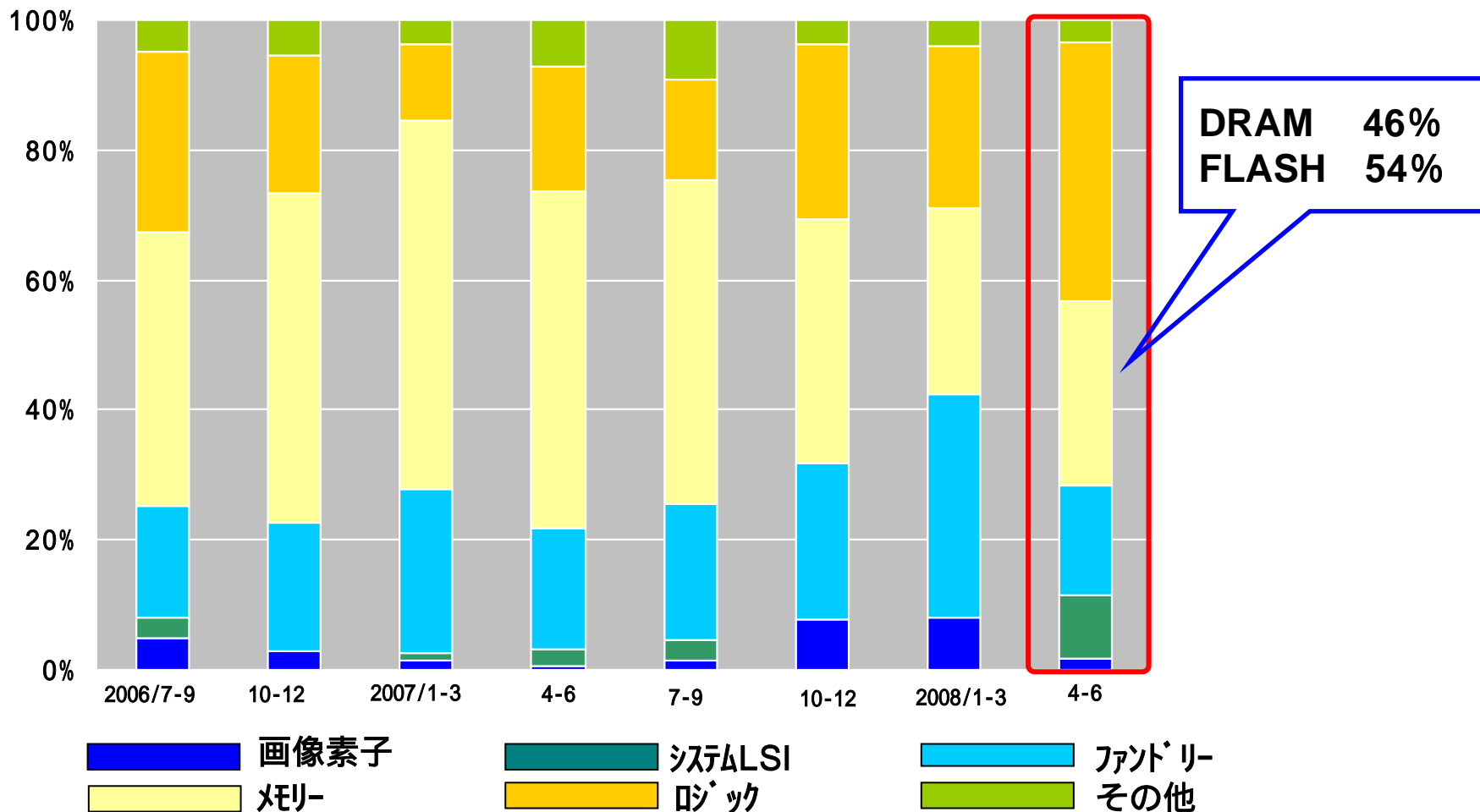
受注高・受注残高 四半期推移 (連結)



棒グラフの青文字は、四半期受注高合計を示す。

半導体製造装置事業 デバイス分類別受注比率 四半期推移(単独)

メモリーは依然低調・ロジック向け投資比率が増加



1. デバイス別投資予想

DRAM	新たな再投資の動きが見られる 期後半に向けて本格回復予想
NAND	デバイス価格の下落にともない、投資調整の動き
ロジック	堅調に推移、投資上積みに期待
ファブリー	期後半の再投資に期待

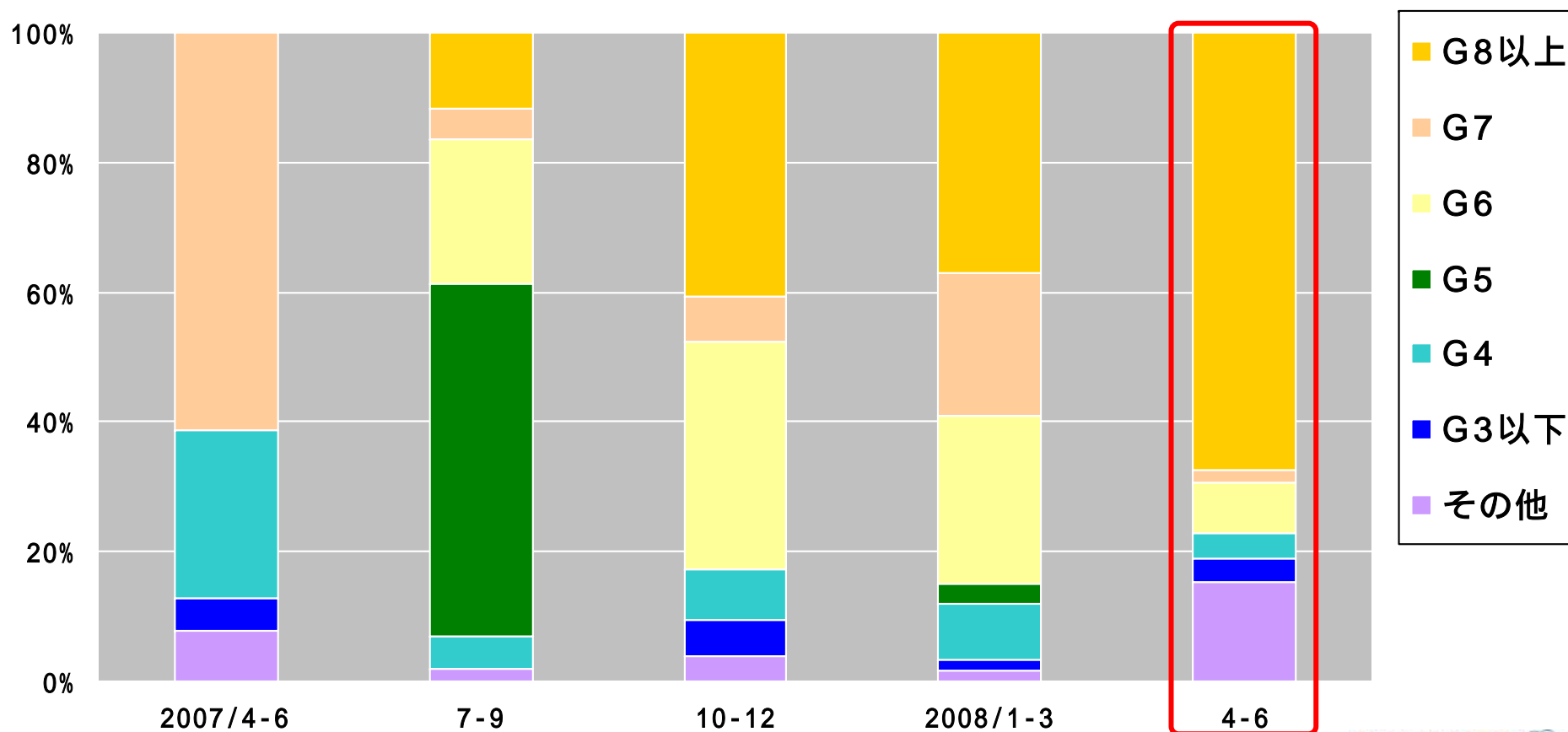
2. 主力製品の状況

FC-3100 (バッチ式洗浄装置)	上期は低調に推移、下期回復基調
SU-3100 (ケミカルプロセッサ)	堅調に売上推移、新たなアプリケーションにも対応
SS-3100 (ブラシスクラバー)	順調に納入実績を伸ばす

FPD製造装置事業

世代別受注比率 四半期推移(単独)

- 1Q受注は288億円、非常に高い水準を維持
- 世代別では、第8世代以上が60%以上を占める
- 2Q受注は減少を予想するも、上期の受注総額は期初計画通り

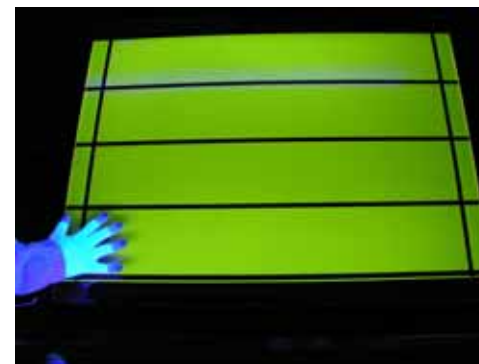


事業領域の拡大に向けた取り組み

- 有機ELディスプレイ製造装置：2010年に売上100億円を見込む
 - DuPont 社との共同開発加速



alpha-type Machine

**■発表後の進捗**

- 複数のパネルメーカー、材料メーカーから問い合わせ
- 装置見学・評価要請あり

画像情報処理機器

- 主力製品CTPは売上堅調
 - 新規の販売チャンネル拡大に成功
- インクジェット印刷機も売上を順調に伸ばす
 - 主力のTruepress Jet520 が順調
 - Inca社の大型サインディスプレイ用も堅調
- 材料ビジネスも増加傾向
 - 装置納入実績の増加に伴い、順調に売上増加

その他の電子機器

- 太陽電池向け検査装置を商品化
 - 「分光エリプソ式膜厚測定装置」の販売開始

drupa 2008 トピックス

1. 「Inkjet drupa」として、各社インクジェット関連製品を多数展示
2. 今後のインクジェット市場拡大への大きな流れを確認
3. 当社Truepress Jet520は優れたソリューションとして認知度アップ
4. 主力CTP装置は計画以上の受注獲得



SCREEN ブースの様子

May 29-June 11
Düsseldorf Germany

第1 Step

- 「分光エリプソ式膜厚測定装置」の販売開始
- PV Japan展への出展（7月30日～8月1日）



第2 Step

- 「自動ムラ検査装置」「外観検査装置」などの製品化
- ノズル吐出、インクジェットを利用した塗布装置の製品化

第3 Step

- 色素増感型太陽電池向け「メッキ関連技術」の開発推進



～ 太陽電池関連の製品ラインナップ拡充を目指す～

取得目的

- 製造拠点の京滋地区集中に対するリスク分散
- 将来に向けた事業拡大のため

取得用地の概要

- 場所：熊本県上益城郡益城町
「くまもと臨空テクノパーク」
- 面積：約240,000平方メートル

協定書調印式

- 日時：2008年8月19日（火）14:30～
* 調印式に引き続き、記者会見を予定しています
- 場所：熊本県庁

今期業績予想

- 5月12日発表の業績予想より変更なし

事業領域の拡大に向けた取り組み

- 有機EL製造装置の量産化に向けた開発加速
- インクジェット関連機器の製品ラインナップ拡充
- 太陽電池関連事業に参入
- リスク分散と今後の事業拡大に向け、工場用地取得

SCREEN

SCREEN